

長野県での活性化研修レポート 2018

石川県酒販協同組合連合会

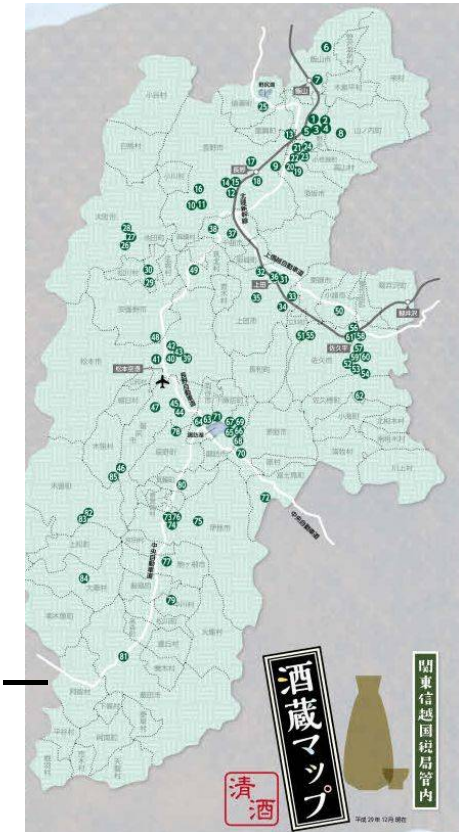
2018/9/22～9/23

目次

1. 信州醸熱タンクシリーズ
2. 個性あふれる酒販店
3. 佐久酒造組合の活動
4. 長野県の基本データ
5. ワイナリー情報

○ヴィラ・デスト・ガーデンファーム・アンド・ワイナリー

○国産ワインの表示ルール(2018.10からスタート)



1.信州醸熱タンクシリーズ

- ◆ 長野県の有志酒販店が企画した、創意あふれる地酒メーカーと消費者をつなぐ取り組み。

「冷やでもヤケドするぜ！」



▶1 その企画とは？

- ◆ 長野県内3つの酒販店が企画したスペシャル限定酒。
- ◆ 日本酒ブームと言われ久しく、信州地酒の注目度を何とかUPしたい。



- ◆ 『信州地酒の魅力をもっと知ってもらいたい』『将来有望な若手蔵元を全力でバックアップしていこう！』という思いから、**タンクー本分**のお酒を**特注**し、それを**まるごと買い上げ**販売。

▶2 スタートは2015年

- ◆ 酒専門店限定の「和和和」ブランドでの実績から選定・依頼
- ◆ (株)古屋酒造店(佐久市)
《深山桜》代表 荻原 深
- ◆ 醸熟タンクシリーズの仕込の規模は一升瓶換算で350本、単純に計算して1酒販店当たり約120本



▶3 めざす酒質とは

- ◆ 蔵元の造ってみたい酒をベースに、造る側と売る側が徹底的に議論を重ね、それをタンク一本に仕込んでもらう。
- ◆ 蔵元と共に歩み、徹底的にブランドストーリー「コト」を共有することに情熱と時間を注ぐ。
- ◆ そのタンクの「飲み頃」を想定し、時期に応じて、作品を世に送り出し、お客様にトキメイテもらい、よろこんでいただく。
- ◆ そのタンクを醸してくれる酒蔵が益々注目されるよう共に成長を目指す。



(株)古屋酒造店 代表

▶4 2015年～2017年までの作品



2015年 純米



2016年 純米大吟醸



2017年 純米吟醸

2015 (720ml 1,350円) (1.8L 2,700円)	純米 16度 (ひとごち: 麴米) (美山錦)65%精米	3月活性生原酒 4月無ろ過生原酒 10月火入れ原酒
2016 (720ml 1,890円) (1.8L 3,600円)	純米大吟醸 16度 (ひとごち) 49%精米	同上
2017 (720ml 1,850円) (1.8L 3,500円)	純米吟醸 16度 (金紋錦)55%精米	同上

▶5 2018年の作品とこれから

- ◆ 信州地酒頒布会アワード2016の人気投票第1位となったブランド「北光正宗」に依頼

※2019年は同じ選定方法で「水尾」(株)田中屋酒造店:飯山市)に決定

- ◆ (株)角口酒造店(飯山市)
蔵元杜氏・村松裕也

- ◆ <スペック>
金紋錦、精米歩合49%、純米大吟醸
低アルコール原酒(14度台)、ドライ



▶ 販売戦略など

- ◆ 一般消費者への販売の方法
 - ・3酒販店のブログで発売日を告知
 - ・予約、置き置きなど一切せず、店頭販売のみ
 - ◆ 信州地酒頒布会会員への対応
 - ・頒布会から醸熱タンクシリーズが派生した経緯から、基本的に入手可
 - ・第1回のみ会員限定の「**スペシャルなお酒**」を用意
- ※2018年は、角口式直詰め生原酒720ml



2.個性あふれる酒販店

(佐久市)「酒舗 清水屋」

◆ 店データ

1.立地条件

JR佐久平駅から約800mの住宅地

2.周辺の人口

約10万人

3.店舗展開

2店舗目

(本店は約25Km離れた小海町)

4.店舗面積

約110m²



▶1 地酒へのポリシー

- ◆ 本物の酒とは、蔵元に主張があり、それが酒に現れている事。「**信念のある蔵元に信念の酒あり**」、信念のある本物の酒を提供する。

※信州地酒30、県外酒6

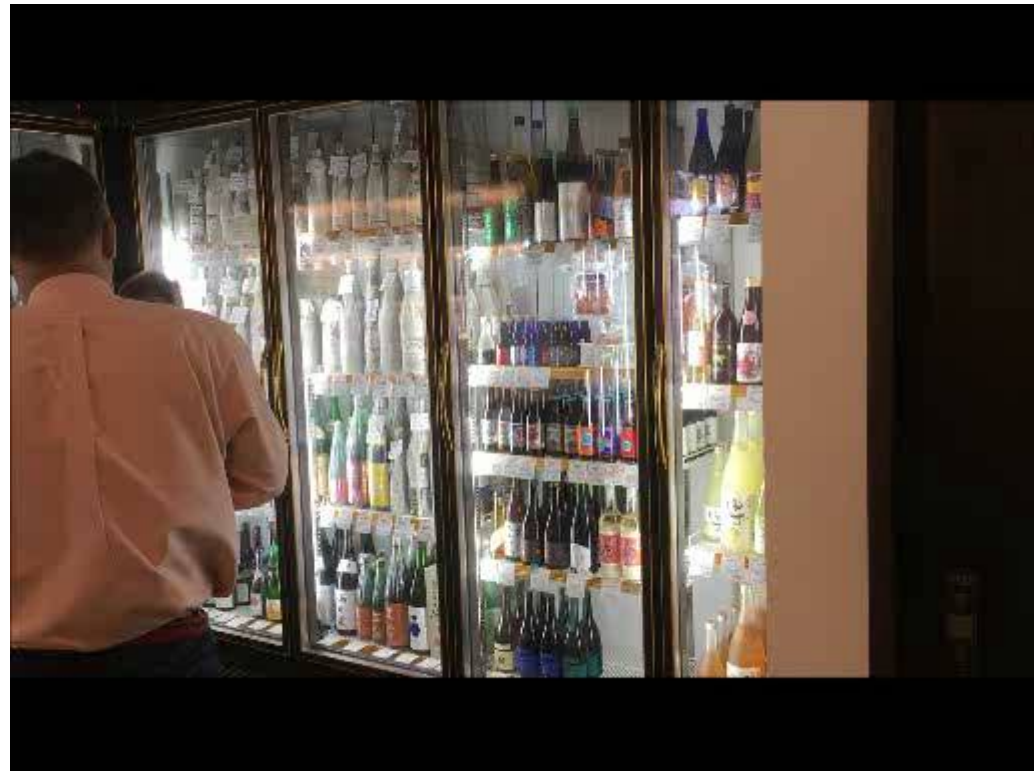
- ◆ その心を伝えると同時に、蔵元が醸した芸術品である地酒を最良の状態で消費者に引き渡せるよう、万全の品質管理に努める。



▶2 徹底した品質管理

- ◆ リーチインでの低温や氷温での温度管理はもちろんのこと、紫外線対策として、**出入り口以外の開口部を設けず**、店舗内の照度も可能な限り低くするなど、徹底した取り組みを行っている。

※出入り口ドアもガラスなし



▶3 顧客への働きかけ

◆ テーマを設けた無料試飲

◎毎週土・日、2種類

例) 辛口旨口対決-「正雪」vs「義侠」

◆ 当店限定、蔵元限定酒

◎「氷室スペシャル(明鏡止水)」を月替わりで

◎吟醸タイプ生原酒を、専用サーバーで量り売り

※720ml(1,000~4,000円台)

◆ 会員とポイント制度

◎マイお猪口持参で、1ポイント

◎30回来店で満タン



▶ ギャラリー



古酒などの紫外線
対策



イベントルーム



量り売り専用
サーバー



イベントルームか
ら取り出せる倉庫

2.個性あふれる酒販店

(上田市)「地酒屋 宮島」

◆ 店データ

1.立地条件

JR上田駅から約10Kmの田園地帯

2.周辺の人口

約15万人

3.店舗展開

1店舗のみ

4.店舗面積

約150m²



▶1 地酒へのポリシー

- ◆ 地酒に対しては、①自分達自身が地元(信州)を愛している→②自分達自身が酒を造る人や扱う人を愛する→③そのような中で生まれてきた酒を愛する、という考え方。
- ◆ さらに①店主が一消費者として口に「感動した地酒」②造り手の想いが伝わってくる地酒③信州や地元を見事に連想させてくれる地酒、こうした地酒を魂を込めて取り扱う。



▶2 信州地酒に徹した品揃え

- ◆ 高品質でありながら生産量が少ない信州地酒。地元長野でも取扱店が極端に少なく、入手困難なものが多い。
- ◆ 蔵元と長年築いた熱い信頼関係から、蔵元が選別する「特約店」として、信州産特約蔵元数が長野県内最多となっている。

※長野県産清酒・焼酎・ワインのみ



▶3 顧客への働きかけ

- ◆ 「信州地酒頒布会」で底辺拡大
 - ◎4～11月の8カ月、毎月、秘密の酒を提供
 - ◎Aコース 720ml×3本 毎月4,000円
 - Bコース 1,800ml×2本 毎月5,200円
- ◆ 会員限定販売の地酒を充実
 - ◎定番的なお酒は一般客も購入可
 - ◎限定流通のお酒を「裏メニュー」に用意
- ◆ あえて会員資格を制限
 - ◎来店のポイントが20ポイントでID発行
 - ◎ネットショップで年4回以上かつ20,000円以上利用し、IDを希望する人



信州地酒頒布会 ファン感謝祭(アワード)



店のロゴ

▶ ギャラリー



地酒紹介パネル



信州地酒 1升空びんギャラリー



上田酒販協同組合
オリジナル『真田〇ノ里』



59醸会 (2018年のテーマは18金)

3.佐久酒造組合の活動

- ◆ 信州佐久十三蔵で醸す酒



佐久地域13蔵の若手蔵元で組織する、「佐久若葉会」のメンバーが、世界に通じるブランド「SAKU」を目指して、蔵の垣根を越えて13蔵が一丸となって仕込みをし、醸すお酒が「**SAKU13**（サーティーン）」。

毎年当番蔵を設定し、酒米作りや生酛造りなど、テーマを決めて個性的な商品としてリリースする。

▶ SAKU13 1st~4th Season



◆ 2014~2016 (1st~3rd)

酒造好適米「ひとごち」を自ら栽培(純米吟醸)

伴野酒造→大澤酒造→黒澤酒造

◆ 2018 (4th)

長野県の新開発酒米「山恵錦」+長野酵母Dのオール信州

大塚酒造 (project K 純米大吟醸 720ml 2,300円)



4.長野県の基本データ

◆ 人口・面積

人口	2,063,865人	(石川県の1.80倍)
面積	13,561.56km ²	(3.23倍)
人口密度(1km ² 当たり)	163人	(0.57倍)

◆ 地域区分

北信(長野・飯山)、中信(松本・木曽)、東信(上田・佐久)、
南信(諏訪・飯田)

◆ 酒販組合数

小売組合(10) 協同組合(4)

◆ 酒類の免許場数

【製造】	清酒	86	(石川県の2.04倍)
	焼酎	30	(5.00倍)
	果実酒	44	(7.33倍)
【小売】		3,932	(1.96倍)



長野県PRキャラクター
「アルクマ」

5.ワイナリー情報

(東御市) 「Villa d'Est Gardenfarm and Winery」

ヴィラ・デスト ガーデンファーム アンド ワイナリー

◆ ワイナリーデータ

1.立地条件

JR上田駅から約12Km、千曲川ワインバレーの中心地

2.ぶどう栽培・製造開始

1991年・2003年

3.年間製造数量

約25,000本(原料は自社と周辺のぶどうのみ。)

4.栽培品種

シャルドネ、メルロー、ピノ・ノワール、ゲビュルツ・トラミネール、ソーヴィニヨン・ブラン(8ha)



▶ 信州ワインの発信地

- ◆ 1991年、画家でエッセイストの玉村豊男氏が、ワイン用ぶどうの栽培に適しているとして、約500本の苗木を植えたことから、この地のナガノワイン産地としてのストーリーが始まった。

遠く北アルプスを望む標高850m、年間平均降水量が900～1,000mm、晴天率は90%という恵まれた気候と、水はけの良い土壌からなる傾斜地であるが、放棄された桑畑の開墾作業からのヴィンヤード整備となった。

- ◆ ヴィラデストワイナリーは、信州ワインの発信地として、千曲川ワインバレーをリードしている。

VILLA D'EST WINERY

ヴィラデストワイナリー



▶ ヴィラデストワイナリー・NAGANO WINE

フラッグシップワイン
各種コンクール金賞
サミットで提供



**ヴィニユロンズ
リザーブ シャルドネ**
フレンチオーク樽で発
酵させ、シュール・リー
の状態約7か月樽
熟成



ピノノワール
ブドウ品種の中でもと
りわけ栽培が難しいと
されるピノ・ノワール

長野県原産地呼称管
理制度 認定ワイン



ソーヴィニヨンブラン
日本では栽培の少ない
品種、当地は適地とし
て注目されている

柑橘やグレープフルー
ツ、ハーブといった華や
かな香りとしっかりした
酸味、辛口



**ゲヴェルツト
ラミネール**
フランスのアルザスや
ドイツで主に栽培をさ
れている品種

ライチやバラの香りが
華やかで、辛口

▶ ギャラリー



ヴィンヤード



仕込タンク+フレンチオーク樽貯蔵

◆国産ワインの分類(2018.10から)

※国税庁「ワインラベルは語る」より抜粋



◆産地表示のある国産ワイン

(参考) 地名が表示されている場合の見方

- ① 「山梨県産ぶどう使用」「長野シャルドネ」など、ぶどうの産地について記載があれば、それは**ぶどうの収穫地**の表示です。

➤ 地名が示す範囲内にぶどうの収穫地(85%以上使用)がある。

- ② 「北海道醸造」「醸造地：山形」など、ワインの醸造地について記載があれば、それは**ワインの醸造地**の表示です。

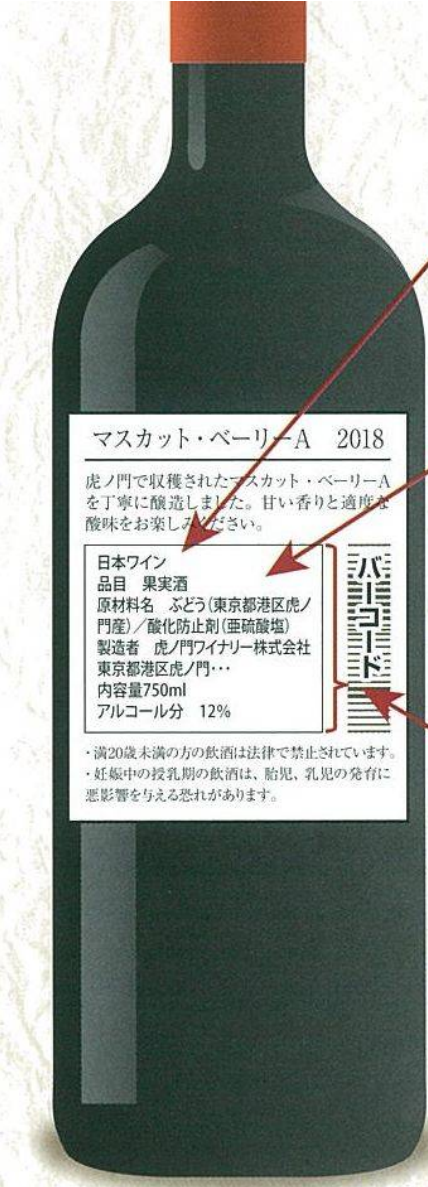
➤ 地名が示す範囲内に醸造地がある。

- ③ 「大阪」「滋賀ワイン」など、①②以外の形で記載があれば、それは**ワインの産地**の表示です。

➤ 地名が示す範囲内にぶどうの収穫地(85%以上使用)と醸造地がある。



◆日本ワインの表示例



日本ワインの表示
裏ラベルには必ず表示されています。

原材料の表示
使用された主要な原材料が使用量順に表示されています。

一括表示欄
日本ワインであること、品目、原材料名、製造者、製造場、醸造地、内容量、アルコール分などがまとめて表示されています。
(注1) 品目、内容量は表ラベルに表示されている場合は省略されていることもあります。
(注2) 製造者、製造場、醸造地が同一の場合には製造場や醸造地は省略されていることもあります。

マスカット・ペーリー-A 2018
虎ノ門で収穫されたマスカット・ペーリー-Aを丁寧に醸造しました。甘い香りと適度な酸味をお楽しみください。

日本ワイン
品目 果実酒
原材料名 ぶどう(東京都港区虎ノ門産)/酸化防止剤(亜硫酸塩)
製造者 虎ノ門ワイナリー株式会社
東京都港区虎ノ門...
内容量750ml
アルコール分 12%

・満20歳未満の方の飲酒は法律で禁止されています。
・妊娠中の授乳期の飲酒は、胎児、乳児の発育に悪影響を与える恐れがあります。

◆海外原料使用ワインの表示例

